

REALE CUP 2021 U-8 大会の開催を 支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

【出場チーム】
ALA RED
ALA BLUE
FACT SOCCER CLUB
ANTHEM SOCCER CLUB
SEPALADAスポーツクラブ チームK
SEPALADAスポーツクラブ チームT
フットボールクラブ ネオ
VIVID BLUE
FC REALE

【特別協賛】
YOKOHAMAまごころ基金
横浜ゴム株式会社
石神井公園の歯科と矯正歯科
KIBE

【協賛】
大場 晃利
G-word
有限会社三村商事
株式会社伊原工業
マップカンパニー
株式会社ヤマシンホーム
株式会社ジュエルオート
秀丸

【協力】
Athlete Firm
姫の沢公園パートナーズ
株式会社ベストプロデュース
株式会社Cloud 9

MC つみ慶
写真 杉崎真一
音響 長野道徳
映像 津曲裕之・浦田拳一
デザイン(WFPロゴ) 上田陽子

※敬称略

本気と 社会貢献の サッカー大会



本気と社会貢献の「REALE CUP」など
子どもたちの「生きる力」を育成する事業を展開しています



公式サイト



facebook



YouTube

REALE CUP 2021 U-8 REPORT

2021.03.22
熱海市 姫の沢公園スポーツ広場
主催●認定NPO法人REALE WORLD

認定NPO法人
REALE WORLD
認定特定非営利活動法人 REALE WORLD 静岡県伊東市富戸1317-5030
総合窓口：043-254-5760 nporealeworld@gmail.com



「本気」でやると楽しい！を体感



コロナ禍で10ヶ月延期、U-8に変更して開催

2020年5月に開催予定だったレアーレカップは、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令により延期となり、結局2020年中には開催できませんでした。年が明けて3月。緊急事態宣言等の間隙をぬって、学年もU-8に変更して開催しました。会場受付では検温とアルコール消毒を徹底し、感染対策にも努めました。



実現する力は自分の中に！「頑張る」環境づくり

マンオブザマッチの選出、全試合を通してのMVPやベストGK、DF、MF、FW、得点王など、努力し活躍した選手を表彰するのもレアーレカップらしさ。日本のように恵まれた環境にいると、労せずともいろんなものが手に入りますが、試合に勝つこと、各賞に選出されることは、どれも本気で頑張らなければ得られません。全力で頑張らなければできないことがある。「挑戦する機会」の提供を通して、子どもたちの成長を育みます。



プロの気分を味わう、本格的な試合環境を用意

人工芝の広々としたグラウンドに響く音響。MCによるアナウンスあり、カメラマンによる撮影あり。今回はAIカメラによる動画配信も行いました。スポンサーボード前での表彰式。光り輝く大きなトロフィーやメダルに、小さな勇者たち、そしてスタンドの応援団の心はヒートアップ。「本気でやる楽しさを知る」。レアーレカップの大きな目的の一つです。



集まった132足のシューズはアフリカの子どもたちに届けます

あのトロフィーを持って帰るぞ！ チーム全員を「本気」にさせた レアーレカップ

**優勝チーム
SEPALADAスポーツクラブ チームK
監督 西澤和真さん**

参加して…もうめちゃくちゃよかったです！ 試合が終わってからも、子ども達はずっと大会のことを話していましたし、「今週ないの？」とか言ってたり(笑)。そのくらい、忘れ難い素晴らしい体験になりました。

まず、あの会場の雰囲気です。まるでプロの試合みたいじゃないですか！ 本格的な空気感の中でサッカーができる、すごい経験をさせてもらいました。

さらには、あのめちゃくちゃ大きいトロフィー！

「おい、お前達、あれを見ろ！ あれを持って帰るぞ！」

僕自身も、子ども達も、俄然「本気」になりました。強烈なインパクトでした、あのトロフィーは！



僕自身、子どもの頃、スタジアムで、まさに音楽が流れる本格的な試合環境で、まるでプロになったかのような気持ちでサッカーをさせてもらう機会があったんですね。「僕もここでプレーしたい！」と、子ども心中に本気になって。それが原動力となり、その後プロになり、ポーランドで選手として活動しました。僕自身がそういう経験をしてきたので、今回、2年生の子ども達がここで経験させてもらったことを、本当に有り難く思いました。

「社会貢献」ということでは、参加費が自分の使っていないシューズを寄付する、ということでした。初めての経験でしたが、みんな自然に受け入れていました。

これを毎年同じ学年やるとなると、靴を持ってくるのはなかなか難しいかも知れませんが、今回レアーレカップを経験し、あの環境でサッカーできるのなら、買ってでも持参します(笑)。そのくらい本当に良い大会でした。

実況とかAIカメラでのライブ配信とか、あのスケールで大会をするって費用もかかるだろうし、どうやって成り立っているんだろうと興味がありました。その道のプロの方々が活動を応援してくれて、手弁当で買って出してくれていると聞く、「すごいな、みんなが本気なんだな！」と感動しました。

僕たちは「セパラーダ魂」と言っているのですが、魂を出して闘うのが、セパラーダのポリシーであり「らしさ」です。そんな僕たちが、あの試合環境に興奮し、「でっかいトロフィーが欲しい！」と、もう完全に火が点いたレアーレカップ。本当にセパラーダらしい試合ができたと思っています。次の大会にもぜひ参加させてもらいたいと思っています！



FC REALE 保護者の声

「大会を作り上げる、人生初の経験」 E.Yさん

大会に関わること、しかもそれを「1から作る」ということは人生初。普段は自分から積極的に動くタイプではないですが、全部指示待ちでは、今回のような場合、全然進みません。流されていくのではなく、自分でしっかり考えてやった、という実感はあります。時間通りに大会が進行したのも、それぞれが自分の担当を責任を持ってやったから。「みんな、すごい！」って思います。事前学習でアフリカのことを調べるなど、学生時代に戻ったみたいで、大会前日は、遠足の前日のようなワクワクと緊張で、眠らなきゃと思えば思うほど眠れないみたいな(笑)。大人になってこんな気持ちを味わうことができて、有り難いなと思いました。



「頑張って良かった！」 K.Wさん

準備では、代表理事の彩さんから次々と要望があり、中でもケニアについて調べて発表して欲しいという提案には、誰もが戸惑ったはずです。しかし、そのおかげで、家族全員で調べ学ぶ機会になりました。それらを掲示することになり、Mさん・Eさん・私で担当の名乗りを上げ、3人で構想を考え、Eさんが1日で素晴らしいものを作ってくれました。任されたことで、自分たちで考えて相談や創意工夫きました。前日、最終の準備をしていると「コーヒー販売しないの？絶対売れる！ 彩コーチに聞いて！」と、息子からの猛烈アピール。彩さんから「ナイスアイデア！」販売はできないけれど考えてみますとの返事。「伝えてみるべきだね！」と、息子も大喜びでした。どんな提案も、まず聞いてくれる彩さんスタイルは、親子共々勉強になりました。頑張って良かったです！



「みんなで力を合わせたら出来る」 A.Sさん

当日はタイムキーパーを担当しました。時間通りに大会が進行できたのは、本当に、みんなで工夫して頑張ったからだと思います。やったからわかったこともたくさんあったので、課題は次に活かしたいです。高学年の子どもたちや、そのママたちのお手伝いが本当に有り難かったです。幼児さんたちがものすごく大きな声で応援してくれ、ママたちと「応援のMVPだね！」って言っていました。「この大会、絶対やりたい！」と言っている幼児さんたちの姿を見て、絶対にやってあげたいと思いました。本当に良い大会だったと思います。



「社会貢献」を実践し体得する